



介護 DX/ICT化を実現する ヤマハネットワーク

使用機種

RTX830 SWX2210-8G W LX313 W LX212

導入企業様

社会福祉法人 芦別慈恵園



住所

北海道芦別市旭町28番地

URL

<https://www.ashibetsu.or.jp/>

1968年の設立以来、北海道芦別市にて特別養護老人ホームやデイサービス事業などに取り組む。法人基本理念「和顔愛語」に基づき個別ケアを行い、入居者ごとにその人らしい生活を実現するために職員の資質向上に努めている。また、地域住民と職員のコミュニケーション強化のため、脳トレや体操といった介護予防教室などの地域活動にも力を入れている。



導入の経緯

1. 介護記録のソフトウェア化による 通信負荷への対応

社会福祉法人芦別慈恵園（以下、芦別慈恵園）は、従業員の業務効率化を推進している。2012年より介護記録ソフトを導入し、徐々にPCの台数が増加し始めた頃、「画面が切り替わらない」「記録が途切れてしまう」といった頻発するネットワークトラブルが課題となっていた。介護記録ソフトは多数の画面を切り替えながら入力

をするため、安定したネットワーク環境の整備が求められていた。

2. 迅速なトラブル対応

先述のような、ネットワークトラブルがあった場合、株式会社サンコー情報システム（以下、サンコー情報システム）が駆けつけて復旧作業をしていた。しかし、札幌市から芦別慈恵園までは高速道路を利用して、訪問に2時間近くかかる上、様々なメーカーの製品が混在している環境であったため、原因究明にも時間がかかっていた。



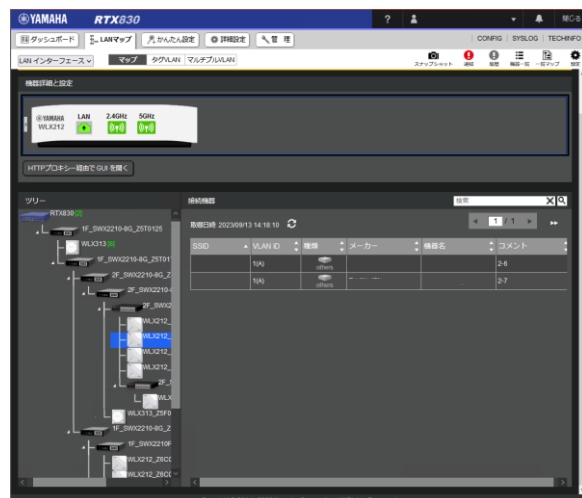
選定理由

☑ 見える化によるセキュアな ネットワーク構築

ヤマハネットワーク製品は、LANの見える化機能「LANマップ」を搭載しており、ネットワークの接続状態を一目で把握できるため、迅速なトラブルの発見・解決につながり先述の課題解決が見込まれた。比較検討していた他社製品では、見える化機能を利用するためには追加ソフトやアプリケーション購入が必要であったが、ヤマハは標準搭載であることも選定の理由になったという。

☑ ヤマハネットワーク製品に対する信頼

ヤマハネットワーク製品の導入には、サンコー情報システムの提案がきっかけとなった。サンコー情報システム三木氏は、「今回の提案にあたり、複数のメーカー製品を社内で検証したところ、セキュリティ・信頼性・耐久



性・サポートの面で、ヤマハネットワーク製品が最も優れていたため、自信をもって提案することができた。」という。



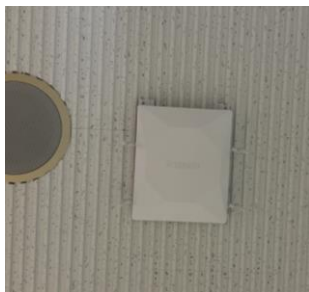
導入後の効果

安定したWi-Fi環境による コミュニケーション強化

ヤマハの無線LANアクセスポイントを導入し、Wi-Fi環境を整備したことにより、2023年2月より、スマートフォンとBluetoothで接続するインターカムを導入した。業務と同時進行で多数の人とコミュニケーションがとれるようになった。また、福利厚生の一環として従業員向けのフリーWi-Fiや、新型コロナウイルスの影響で必要となったリモート面会に活用することができた。

介護ロボット（見守りシステム）の導入

2022年には、サテライト型居住施設 芦別慈恵園 かざぐるまにて見守りシステムを整備した。事前にヤマハネットワーク製品にてWi-Fi環境が整備されていたため



見守りシステムのスムーズな導入を実現。見守りシステムを導入したことで訪室の回数を減らしたり、データを基にピンポイントで訪室したりすることができるようになり業務負担が軽減された。管理課長 鈴木氏は、「安定したネットワークを構築できたため、見守りシステムの導入を前向きに検討できた。今後は他の施設でも導入し、従業員の負担軽減を図っていきたい。」という。

LANの見える化機能「LANマップ」

ヤマハルーターは、「LANの見える化」を提供するためのWebアプリケーション「LANマップ」を搭載※しています。末端の端末まで含めたネットワーク全体を見える化し、ダッシュボードで異常（ループや未登録端末の接続）を早期発見できるため、早期対応が可能となります。

※対応機種：RTX1300/RTX1220/RTX1210/RTX830/NVR700W/NVR510

サンプル：LANマップダッシュボード画面



お話を伺った方

導入団体様



社会福祉法人
芦別慈恵園
特別養護老人ホーム
管理課長

鈴木 章夫 氏

販売代理店のコメント

私どもはトラブルが発生してから対応するのではなく、トラブルの予兆を早期に察知しそれに対応するサービスを提供していきたいと考えている。芦別慈恵園様では、介護ロボット等の採用機会が増えると予想されるためICT化のサポートをしていきたい。このような環境でも安心して提案・導入できるように、ヤマハネットワーク製品には適正価格で高品質な製品づくりを期待している。

（株式会社サンコー情報システム 取締役 三木 祐司氏）

SCSK株式会社

SCSK株式会社 プロダクト・サービス事業グループ
ネットワークセキュリティ事業本部
ネットワークプロダクト第一部
〒135-8110 東京都江東区豊洲3丁目2番20号豊洲フロント

☎ 03-5859-3032 ✉ rtpromo-info@scsk.jp

当部公式SNSにてヤマハネットワーク製品に関する最新情報を日々お届けしております。



YouTube



Instagram



Twitter

記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標あるいは商標です。